

平成28年12月13日

川西市長

大塩 民生 様

医療法人 協和会

理事長 北川 透

これからの地域医療における連携・協力体制構築のお願い

謹啓 師走の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素より本会の運営に格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、超高齢社会に突入した今日、当会が地域で求められていることは、これまでの急性期医療を中心とした医療体制から、療養から在宅に至る様々な医療・介護サービスを、それぞれのニーズに応じて提供できる体制へとシフトしていくことであると考えています。

当会ではこれまで、急性期医療はもちろんのこと、継続したリハビリテーション、療養、さらには介護、在宅支援等を、グループとして一貫して提供することにより、地域の皆様に、安心して利便性に富んだより優れたサービスを提供させていただくことを目指してきました。

その中で、グループの核となる協立病院は、地域の医療機関と密接に協力し、地域の皆様が安心して、信頼できる医療の提供に邁進してきていますが、病院建築からかなりの年月が経過し、施設の老朽化が進んでいることから、新たにキセラ川西地内に用地を確保して、新しい病院建設に向けての検討を進めております。

一方で、貴市の方でも、市民病院の老朽化による建替えの検討を始めておられると聞き及んでいます。このように同じ地域医療圏内において、時を同じくして検討を進めている病院の建設にあたりましては、持続的に安定した経営基盤の下、安心して信頼していただける医療の提供という観点からも、これまでも増してより密接な連携・協力体制を構築することが必要であると感じております。

つきましては、地域医療環境の充実にむけて、改めて貴市とともに病院建設を含めた協議を進めていくことができると考えております。何とぞ、格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

謹白